

やろんで!

SPORTS とっとり

公益財団法人 鳥取県体育協会広報誌

2012
December



Contents

平成24年度 公益財団法人鳥取県体育協会 事業内容	1
表 彰	4
第67回 国民体育大会	5
総合型地域スポーツクラブ	8

事業内容



I 基本方針

この法人は、県内スポーツの競技力向上、生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進、文化活動・地域産業の振興に資する事業を行うことで、県民スポーツに対す

る意識の高揚を図るとともに、健康で文化的な県民生活の向上と地域産業の発展に寄与することを目的とする。

II 事業

この法人は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

1. 国民体育大会・中国ブロック大会等の各種スポーツ大会に関すること。
2. 県民スポーツ振興に関する各種表彰・顕彰事業を実施すること。
3. 県民のスポーツ、文化、及び産業の振興を促進するための施設の管理及び貸与を実施すること。
4. スポーツの普及、競技力の向上及びスポーツ環境の整備等に関すること。
5. スポーツ指導者を育成すること。

6. 地域スポーツ組織の基盤整備及び地域スポーツクラブの育成・支援に関すること。
7. スポーツ少年団をはじめ青少年スポーツの育成に関すること。
8. この法人が実施する各種スポーツ振興事業をはじめ、スポーツに関する普及啓発を図るための広報並びに情報提供を実施すること。
9. この法人は、前条に定める事業の他この法人の目的を達成するために必要な事業を行う。

III 平成24年度の主要事業

1 平成24年度事業の重点

(1) 競技力の向上

- ①指導者の確保を図る。
- ②ジュニア期指導体制の強化を図る。
- ③少年期、成年期の競技力向上を図る。
- ④指定競技の重点強化を図る。
- ⑤コカ・コーラウエストスポーツパークブランド化事業

(2) 生涯スポーツの推進

- ①総合型地域スポーツクラブを育成、支援する。
- ②県民スポーツ・レクリエーション祭を開催する。
- ③各種講習会等で、公認スポーツ指導者を養成する。
- ④障害者スポーツ協会と連携し、障がい者のスポーツ活動の充実に努める。
- ⑤因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業

(3) スポーツ少年団活動の充実

- ①スポーツ少年団を育成、支援し、その活動の充実を図る。
- ②スポーツ少年団指導者の育成、研修及びリーダーの養成を図る。

(4) 国際交流の推進

- ①大韓民国江原道とのスポーツ交流を実施する。

(5) 広報・啓発活動等の推進

- ①スポーツ功労者等の表彰を行うとともに、各事業の広報機関誌の発行やホームページ等の情報提供の充実に努める。

(6) 体育施設の管理

- ①指定管理者として、受託施設6施設(鳥取産業体育館・鳥取屋内プール、布勢運動公園、倉吉体育文化会館、米子屋内プール、米子産業体育館、県立武道館)の管理運営を適切に行なう。

(7) 指定管理施設スポーツ振興事業基金の活用

- ①指定管理施設スポーツ振興事業基金を活用し、本県スポーツの振興に関する各種事業を実施する。

2 加盟団体の強化発展及び相互の連絡調整

鳥取県競技力向上対策事業に基づき、本県の競技力の向上を図る。

(1) 県委託補助事業

①指導者確保事業

鳥取県の競技力向上のため、優秀な指導者を確保し、指導体制の充実を図るとともに、専門性を生かしながらトップアスリートの育成を図る。2名増員(現行3名)

②ジュニア期一貫指導体制事業

ア 競技者育成プログラム活用・実践事業

一貫した理念や内容で組織的・計画的に継続して強化を図るために、23年度、各競技団体で作成した競技者育成プログラム(強化計画)に基づき、ジュニア指導者講習会及びカテゴリ別合同練習会を開催することにより、指導者資質の向上を図るとともに、一貫指導体制の定着とトップアスリートの発掘・育成・強化へとつなげる。

- イ ジュニアクラブチーム等育成・支援事業
特定のジュニアクラブを指定し、クラブチームの育成・活性化・大会参加等について積極的な支援を行うことにより、本県の競技水準の維持向上の基盤を確立するとともに、優秀なジュニア選手の発掘及びジュニア層の強化支援を行う。
- ウ 指導者育成事業
若手指導者が全国トップレベルの指導実践を学ぶ機会を支援し、指導体制の強化、継続的な競技力の向上を図る。
- エ 高等教育機関との連携事業
国体強化、競技力向上を視野に入れながら、大学における運動部活動の振興を目的にして、各競技の運動部を指定する。
また、高等教育機関と連携し、競技力向上を目的としたメディカルサポート及び栄養サポートに関する調査研究を行う。
- ③アドバイザーコーチ招へい事業
海外を含む県外からの優秀なコーチを招へいし、競技に関する豊富な知識と指導経験に基づく質の高い指導を受けることにより、本県強化選手及び強化コーチにおける効果的な競技力向上を図る。
- ④中学生選抜選手強化事業
競技団体と中体連専門部が主体となり、県内の中学生から強化選手を選抜して事業を実施することにより、中長期的な選手育成と強化を図る。
- ⑤高等学校部指定強化事業
・各高等学校における運動部活動の振興、それに伴う学校の活性化を目的にして各競技の運動部を指定し、強化合宿等支援を行う。
・指定校への指導者配置への支援を行うことにより、競技力の向上を図る。
- ⑥少年国体等選手指定強化事業
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。
- ⑦成年国体等選手指定強化事業
各競技団体が指定する国体等強化指定選手に対して県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することによって、国体をはじめとする各種全国大会等での成績向上を図る。
- ⑧特別指定競技国体事業
競技を指定して、県内外の強化合宿等に要する経費を補助し、集中的な強化事業を展開することにより、国体での成績向上を図る。
- ⑨安全管理対策事業
国体候補選手のスポーツ安全保険への加入を補助することにより、強化事業に専念できる体制を整える。
- ⑩医・科学サポート事業
医事・栄養・ドーピングを含むトレーナー育成関係

の講習会の開催や、栄養知識及び普及に関する講習会の開催のほか、筋力トレーニング等の充実を図る。

⑪強化練習用消耗品等対策事業

国民体育大会に参加する上で、消耗品・使用料・作曲料・運搬料等において、その特殊性を考慮し補助を行う。

⑫国体成年団体競技強化事業

県内において高い競技力を持った社会人クラブチームを指定し、対外試合を中心とした県外遠征に対して補助を行う。

⑬コカ・コーラウエストスポーツパークブランド化事業

全国、世界に通用する選手の育成のため、県スポーツの拠点施設でもある布勢総合運動公園内に多機能サポート施設を整備することにより、更なる競技力向上を目指す。また、布勢総合運動公園のブランド化により鳥取力向上も目指す。

3 スポーツに関する宣伝、啓発、指導及び奨励

(1) 体協表彰の実施

スポーツ振興を図るため、表彰規程に基づき本県スポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を挙げた選手について、選考委員会の審議により表彰者を決定し、表彰する。

期 日 平成25年2月下旬

場 所 白兎会館

表彰内訳 体 育 功 労 賞 若干名

優 秀 指 導 者 賞 若干名

ス ポ ー ツ 賞 全国大会等上位入賞

スポーツ敢闘賞 全国大会等下位入賞

スポーツ奨励賞 全国規模大会入賞者

特 別 賞 国際大会出場者等

(2) 広報活動の推進

本会の業務や本県スポーツ活動の状況を県民、関係者に周知するため広報活動の充実を図る。

インターネットHPの活用

行事予定表の発刊

4 体育大会 各種講習会の実施・援助

(1) 大韓民国江原道とのスポーツ交流

本県体育協会と江原道体育会との協定(2001年11月6日協定)に基づき、両県道のスポーツ交流を行い、競技力の向上と友好親善を図る。

24年度は鳥取県で開催する。

・スポーツ交流大会

競 技 卓球・柔道・剣道・バスケットボール

時 期 11月30日(金)～12月4日(火)

参加者 4競技の監督、選手、体協役員等

(2) 第13回県民スポーツ・レクリエーション祭の開催(県共催事業)

広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を全県的な規模で実践する場を提供することにより、県民一人一人に参加意欲を喚起し、県内各地で生涯を通

じたスポーツ・レクリエーション活動の活性化を進める。

- ・夏季大会 2種目
期 日 平成24年8月25日～26日
会 場 東部地区中心に開催
- ・秋季大会 33種目
期 日 平成24年10月27日～10月28日
会 場 東部地区中心に全県で開催
- ・冬季大会 4種目
期 日 平成25年2月10日
(スキーは2月中旬 伯耆町)
会 場 東部地区中心に全県で開催

(3)公認スポーツ指導者養成講習会の開催
(日体協委託事業)

2競技 (バドミントン・バレーボール)

(4)公認スポーツ指導者研修会の開催
(日体協助成事業等)

スポーツ指導者研修会の開催 年2回

(5)国民体育大会等への選手団派遣(県委託事業)

国体県予選会を開催するとともに、国体中国ブロック大会、国民体育大会へ本県選手団を派遣する。

ア 国体県予選会の開催

国体選手選考のための県予選会の開催を競技団体へ委託する。

イ 中国ブロック大会及び全国予選会への選手団派遣
主に広島県で開催される国民体育大会中国ブロック大会及び滋賀県(予定)で開催予定の全国予選会へ選手団を派遣する。

期 日 平成24年6月～12月

会 場 広島県内の各会場等

競技種目 水泳(水球)他34競技

ウ 第67回本国体及び第68回冬季大会への選手団派遣
・岐阜県等で開催される本国体に選手団を派遣する。
(本国体)

期 日 平成24年9月29日～10月9日

競技種目 陸上競技他36競技

・第68回冬季大会に選手団を派遣する。

(スキー競技) 期日 平成25年2月下旬

場所 秋田県

(スケート競技) 期日 平成25年1月

場所 東京都・福島県

(アイスホッケー競技) 期日 平成25年1月

場所 東京都

5 スポーツ振興のため関係行政機関への協力

(1)総合型地域スポーツクラブ育成支援事業(日本スポーツ振興センター補助事業)

- ・クラブ育成アドバイザーの配置
- ・都道府県クラブマネジャー研修会の開催
- ・未育成市町村への総合型地域スポーツクラブ設立に向けた普及・啓発活動
- ・鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催

- (2)アンチ・ドーピング教育・啓発事業(日体協委託事業)
 - ・指導者、選手を対象とした講習会を開催する。
 - ・アンチ・ドーピングに関する啓発を行う。

6 スポーツ少年団の育成(日体協助成事業等)

- ・スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会の開催 年1回
- ・シニアリーダースクール・全国少年大会への派遣
 - ・組織整備強化事業の実施

7 その他

(1)自転車競技場の管理運営

- ・倉吉自転車競技場の管理運営を特定非営利活動法人たかしろに委託する。
- ・その他事務費

(2)スポーツ安全保険業務

公益財団法人スポーツ安全協会鳥取県支部と業務及び経費について協定を交わし、スポーツ安全保険業務を行う。

(3)因幡・但馬ジオパーク地域スポーツ交流事業

兵庫県但馬地区と鳥取県因幡地区の小学生・中学生による陸上競技の交流を目的とした対抗選手権大会を開催。

- ・参加者：選手 400名程度

(4)保育園・幼稚園・小学校校庭芝生緑化拠点事業

各学校の校庭や遊具ゾーンに、児童や保護者と共に芝植え作業を行い、校庭の緑化を目指す。

- ・実施箇所：2箇所程度

- ・対 象：保育園、幼稚園、小学校

(5)サッカースクール

布勢総合運動公園において、元Jリーグ監督等を講師として、小学生を対象としたサッカー教室及びミニゲームを開催。

- ・参加者：小学生 100名

(6)ガイナレ鳥取支援事業

ガイナレ鳥取に対し、県体協としても可能な支援を行い本県スポーツの充実を図るとともに地域活性化に寄与する。

(7)ジュニア選手実技指導【継続】

講師を招き、小学生～高校生を対象とした実技指導の開催。

- ・種目及び開催日：調整中

- ・参加者：小学生～高校生 100名

(8)布勢スプリント開催事業【継続】

平成24年6月24日(日)に布勢総合運動公園において開催される「布勢リレーカーニバル兼スプリント挑戦記録会IN TOTORI」に各種目のトップアスリートを招待することにより、子供たちに夢や感動の提供に寄与する。

表彰



公益財団法人鳥取県体育協会表彰

平成24年3月4日（日）、白兔会館において、平成23年度の体育協会表彰を行いました。

この表彰は、本県スポーツの発展のため功績のあった方に対して行っています。

【体育功労賞】

前住 秀夫（スキー連盟）
山根 俊道（バスケットボール協会）
山根 敬一（卓球連盟）
井田 雅夫（相撲連盟）
湯村 正仁（剣道連盟・鳥取市体育協会）
松下 俊長（少林寺拳法連盟）
長谷 川 要（ゲートボール協会）

【優秀指導者賞】

朝倉 健（陸上競技協会）
安田 千万樹（水泳連盟）
杉谷 忍（レスリング協会）
山林 真由美（馬術連盟）
三島 覚（バスケットボール協会・米子市体育協会）
佐伯 友茂（剣道連盟）

【特別賞】

手島 阿友美
（2011スペシャルオリンピックス夏季世界大会・アテネ：水泳競技）
山口 雅弘
（第10回アジア相撲選手権大会：相撲競技）
上田 幸佳
（第5回アジア女子相撲選手権大会：相撲競技）
川中 香緒里
（第17回アジア選手権大会：アーチェリー競技）
西脇 正和
（2011世界パラアーチェリー世界選手権大会：アーチェリー競技）
宇佐 美里香
（第10回アジア空手道選手権大会：空手道競技）



生涯スポーツ功労者及び優良団体表彰

文部科学大臣が表彰する、平成24年度生涯スポーツ功労者及び優良団体表彰について、功労者として1名、優良団体として2団体を推薦し、下記のとおり受賞されました。

【生涯スポーツ功労者】

高橋 伸也さん
（総合型地域スポーツクラブ：Doスポーツ事務局長）

【生涯スポーツ優良団体】

伯耆町スポーツ少年団
（昭和54年4月設立）
湯梨浜町スポーツ少年団
（平成16年10月設立）

第67回 国民体育大会



国民のスポーツの祭典といわれる国内最大の総合競技大会で、毎年開催地をかえて開かれています。略して国体と呼ばれます。国体は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとすることを目的としています。

国体に出場するには、ブロック大会という予選があります。ブロック大会は、北海道、東北など全国9つのブロックで本大会の出場権をかけて行われます。鳥取県は中国5県が参加する中国ブロック大会で勝ち抜いて既定の出場枠を争います。ただ、陸上競技、水泳競技他のように中国ブロック大会の予選がないストレート種目もあります。

第67回国民体育大会は、冬季大会はスケート競技・アイスホッケー競技が1月28日から2月1日の日程で愛知県名古屋市、豊橋市、長久手市と岐阜県恵那市にて、スキー競技は2月14日から17日の日程で岐阜県高山市にて開催されました。本国体は「ぎふ清流国体」として「輝け はばたけ だれもが主役」のスローガンのもと、9月13日から10月9日の日程で岐阜県にて開催されました。

『燃えろ鳥取』を合言葉にチーム鳥取として鳥取県選手団は熱い戦いを繰り広げ、総合順位は44位という成績で幕を閉じました。

◆天皇杯・皇后杯成績

天皇杯 44位 660.5点
皇后杯 36位 436.5点

◆季別成績

	参加点		競技得点	合 計	季別順位
冬 季 大 会	天皇杯	30点	1点	31.0点	32位
	皇后杯	20点	0点	20.0点	25位
本 大 会	天皇杯	370点	259.5点	629.5点	42位
	皇后杯	280点	136.5点	416.5点	34位
総 合 得 点	天皇杯	400点	260.5点	660.5点	44位
	皇后杯	300点	136.5点	436.5点	36位

◆第67回国民体育大会中国ブロック大会出場権獲得数一覧（別添表）

◆第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」入賞者一覧（別添表）

◆天皇杯／皇后杯 総合得点一覧表（別添表）



第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」入賞者一覧

競 技 名		種 別	種 目	順位	競技得点	個 人 ・ 団 体 名 (所 属)
スキー		成年男子 C	クロスカントリー	8	1	宮脇 宏和 (八東中学校)
陸上		成年男子	110mH	3	6	西澤 真徳 (県教育委員会)
			ハンマー投	7	2	赤穂 弘樹 (大阪体育大学)
			やり投	3	6	高力 裕也 (大体大TC)
		成年女子	走高跳	4	5	萩原くらら (倉吉東高校 3 年)
		少年男子 A	やり投	8	1	小椋 健司 (倉吉総合産業高校 2 年)
		少年男子 B	110mH	5	4	藤井 亮汰 (倉吉総合産業高校 1 年)
			走幅跳	6	3	森山 大成 (境高校 1 年)
		少年女子 A	3000m	6	3	前川 祐紀 (鳥取中央育英高校 3 年)
		少年女子共通	やり投	5	4	田中 晴菜 (倉吉総合産業高校 2 年)
水泳	競泳	少年男子 B	100m平泳ぎ	1	8	武良 竜也 (米子北高校 1 年)
		少年女子 B	100m平泳ぎ	5	4	石田 華子 (鳥取中央育英高校 1 年)
	飛込	成年男子	飛板飛込	4	5	安永 元樹 (日本体育大学)
			高飛込	6	3	安永 元樹 (日本体育大学)
		少年女子	飛板飛込	8	1	宇田恵理子 (米子西高校 1 年)
			高飛込	1	8	宇田恵理子 (米子西高校 1 年)
ボート		成年女子	ダブルスカル	2	21	森田 望 (早稲田大学) 富田 千愛 (明治大学)
		少年男子	ダブルスカル	8	3	菱谷真一郎 (米子東高校 3 年)
						古田 直輝 (米子工業高校 1 年)
		少年女子	ダブルスカル	6	9	濱田 有紀 (3) 相見 晴奈 (3) (米子東高校)
ホッケー		少年女子		5	20	佐々木歩波 (3) 中尾 美穂 (3) 山根 圭子 (3) 堀 美穂 (3) 長岡真友子 (3) 小村 彩華 (2) 岩城 彩音 (2) 田中 優衣 (2) 坂上 美奈 (2) 松森 結子 (2) 太田 愛依 (1) 奥田 早紀 (1) (八頭高校) 梶本 絵里 (3) (倉吉西高校)
レスリング		成年男子	フリースタイル 55kg 級	5	2.5	荒木 秀作 (倉吉養護学校)
			フリースタイル 96kg 級	3	5.5	徳山 利範 (山陰酸素工業㈱)
		少年男子	フリースタイル 96kg 級	5	2.5	山根 渉 (鳥取中央育英高校 3 年)
			グレコローマンスタイル 66kg 級	5	2.5	安田 成 (鳥取中央育英高校 3 年)

競 技 名	種 別	種 目	順位	競技得点	個 人 ・ 団 体 名 (所 属)
セーリング	少年女子	セーリング スピリッツ級	1	24	平岡 沙希 (境高校 3 年) 西尾 知美 (米子工業高等専門学校 3 年)
ウエイトリフティング	少年男子	53kg級 (スナッチ)	2	7	多田 圭佑 (米子工業高校 3 年)
		53kg級 (ジャーク)	6	3	多田 圭佑 (米子工業高校 3 年)
		77kg級 (スナッチ)	6	3	佐々木和人 (鳥取湖陵高校 3 年)
自転車	成年男子	スプリント	8	1	中尾 翔 (所属なし)
	少年男子	1kmタイムトライアル	1	8	佐伯 亮輔 (倉吉西高校 3 年)
相撲	成年男子	団体	5	7.5	石前 辰徳 (日本大学) 伊藤 優 (県体育協会) 石浦 将勝 (県相撲連盟) 木崎 信志 (日本大学) 佐々木耕大 (日本大学)
		個人	5	-	石前 辰徳 (日本大学)
	少年男子	団体	5	12.5	横田 新樹 (3) トウルボルト (3) 圓井 和希 (3) 水田 健斗 (2) 木崎伸之助 (2) 中島 望 (2) 清家 隆志 (1) (鳥取城北高校)
		個人	2	-	トウルボルト (鳥取城北高校 3 年)
			4	-	水田 健斗 (鳥取城北高校 2 年)
バドミントン	成年女子	団体	5	7.5	宮崎 優花 西川 由衣 井田 詩織 (パナソニック鳥取)
弓道	少年少女	近的	3	18	小原 綾佳 (3) 米原 朱美 (3) 寺地 梨香 (2) (倉吉西高校)
山岳	少年男子	リード (団)	7	6	高田 知亮 (3) 高力 秀幸 (2) (鳥取中央育英高校)
		ボルダリング (団)	3	18	高田 知亮 (3) 高力 秀幸 (2) (鳥取中央育英高校)
カヌー	成年男子	スプリント K-1 500M	8	1	藤井 功輔 (鳥取中部ふるさと広域連合消防局)
		スプリント K-1 200M	7	2	
	成年女子	スラローム K-1	25G	7	遠藤絵里子 (県教育委員会)
			15G	7	
アーチェリー	成年女子	個人	3	-	川中香緒里 (近畿大学)
空手道	成年女子	形	1	8	宇佐美里香 (県教育委員会)

【入賞者数】 16 競技44種目67人 ※人数は実人数

(公開競技)

競 技 名	種 別	種 目	順位	競技得点	個 人 ・ 団 体 名 (所 属)
トライアスロン	成年女子	個人	6	-	塩谷 寛子 (やまもと整形外科クリニック)

【入賞者数】 1 競技1種目1人

総合型地域 スポーツクラブ



総合型地域スポーツクラブ(以下総合型クラブ)は、人々が身近な地域でスポーツに親しむことができる新しいタイプのスポーツクラブで、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多趣味)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されているスポーツクラブをいいます。

総合型クラブ育成の取り組みは、文部科学省が策定した「スポーツ振興計画」に基づき、全国的に進められているものです。この計画の中には、全国の各市町村に少なくとも1つ、総合型クラブを育成することが目標に掲げられています。

平成24年7月1日現在で、全国の1,742の市区町村において、設立準備中のクラブを含めた3,396のクラブが育成されています。

鳥取県内では、19市町村中18市町で、設立準備中を含めた28クラブが活動しています。

鳥取市	NPO法人鳥取スポーツクラブ	湯梨浜町	泊クラブ
〃	けたかスポーツクラブ	北栄町	勸北栄スポーツクラブ
〃	青谷スポーツクラブ	米子市	NPO法人やまつみスポーツクラブ
〃	鹿の助スポーツクラブ	〃	あすなろスポーツクラブ
〃	八幡池スポーツクラブ	〃	あいだクラブ
〃	総合型クラブ若葉台	境港市	境スポーツクラブ
〃	国府総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	〃	ウルトラC&Sクラブ
岩美町	岩美総合型地域スポーツクラブ	〃	境港ジュニア・アスリートクラブ
智頭町	スポねっとちづ	大山町	スポーツしよい大山
八頭町	八頭S・C	伯耆町	ほうきスマイリースポーツクラブ
〃	八頭スピリッツボーイズ	江府町	奥大山ぶなの森クラブ
若桜町	若桜町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会	日野町	Do.スポーツ
倉吉市	NPO法人かほくスポーツクラブ	南部町	南部町総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会
〃	打吹スポーツクラブ	日南町	にちなんスポーツクラブ設立準備委員会

設立準備の動きがあるクラブ

倉吉市	しらかべ武道クラブ	米子市	尚徳福祉会
-----	-----------	-----	-------

休止中クラブ

鳥取市	鳥取市中ノ郷スポーツクラブ	琴浦町	浦安地区総合型地域スポーツクラブ
三朝町	賀茂スポレクラブ	米子市	遊YOU スポーツクラブ

鳥取県の総合型地域スポーツクラブ紹介

ほうきスマイリースポーツクラブ(伯耆町) 平成20年4月設立

6才以下の子どもと保護者を対象にした親子体操教室、地元の小学生が中心のバドミントン教室、OL中心のフィットネス教室、高齢者中心のバウンドテニス教室など、様々な年代や職業に向けた事業を展開しています。平成24年度からは伯耆町スポーツ少年団とクラブが共に活動するようにもなりました。

地域住民が気軽にスポーツに参加できる環境をつくり、子どもから高齢者までが元気で明るい町づくりを目指して活動を行っています。

- 活動種目** (一般) 定期教室(ソフトボール、軟式野球、バドミントン、バウンドテニス、ソフトテニス、フィットネス 等)
単発教室(水泳、スキー、トライアスロン)
大会(ソフトバレー、ナイターリーグ、ゲートボール 等)
他 レクリエーション、保育所・小学校・地域への指導者派遣 等
(ジュニアクラブ) 野球、サッカー、ソフトテニス、ミニバス、バレー、卓球、柔道、剣道(12団体)

連絡先 ほうきスマイリースポーツクラブ
〒689-4102 西伯郡伯耆町大原1006-3(伯耆町総合スポーツ公園内)
TEL:0859-68-3775 FAX:0859-68-4758
MAIL:h-smiley.sports@hotmail.co.jp
ホームページ:http://blog.zige.jp/houkismiley/



鳥取県総合型地域スポーツクラブ情報誌

クラブインフォメーション

参考(平成24年12月発行 第42号)

鳥取県 総合型地域スポーツクラブ情報誌

クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県体育協会 〒680-0944 鳥取市布勢 146-1

TEL:0857-28-1288 FAX:0857-28-1399 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com



平成24年12月

第42号

西部地区総合型地域スポーツクラブ交流会＊カローリング



予定していた皆様さん!



まっすぐいくかしら?!



右に曲がるんだよね~



“熊ちゃん”に任せて!!



強かった、ほうきスマイリースポーツクラブ!

平成24年11月3日(土)、西部地区総合型地域スポーツクラブ交流会「カローリング」を、伯耆町B&G海洋センターで開催しました。

参加クラブは、境スポーツクラブ・奥大山ぶなの森クラブ・スポーツしよい大山・ほうきスマイリースポーツクラブの4クラブ、長谷川会長(県連絡協議会会長)、県体協2名を含めた23名が参加しました。

最初に、瀧田さん(ほうきスマイリースポーツクラブ)指導の下、柔軟体操で体をほぐし、手つなぎランニングで緊張をほぐし、皆の距離を一気に縮めました。

その後、ルール説明を受け、クラブ毎で投球する順番を決め、トーナメント方式で対戦し順位を決定しました。

このゲームの面白さは、ポイントゾーンにジェットローラーが止まった時、相手チームのジェットローラーを弾き出し自分のジェットローラーが残った時、最後の1投で逆転した時等ですが、ジェットローラーをまっすぐ投球することが難しく、なかなかポイントゾーンに止めることができず、どのチームも苦戦していました。

勝ったチームの勝因は、気合!かな。

【成績】

- 1位・・・ほうきスマイリースポーツクラブ(密かに特訓?)
- 2位・・・スポーツしよい大山(年の功?)
- 3位・・・境スポーツクラブ(大健闘!!)
- 4位・・・奥大山ぶなの森クラブと長谷川会長と県体協2人の混成チーム(境スポーツには勝てるはずだった)

カローリングは年齢を問わず誰でも気軽にできるスポーツで、見た目より実際にやってみると楽しく、とても盛り上がりました。

1年に1回の西部地区交流会ですが、クラブ間でどんどん交流をしていくきっかけになり、会員や役員の交流が深まり、各クラブの発展にもつながっていくといいです。

この度、西部地区交流会の企画・運営をしていただいた、ほうきスマイリースポーツクラブのスタッフの皆さん、ありがとうございました。

参加されたクラブの皆さん、お疲れ様でした。



運営クラブが1位で
申し訳ない



大岩さん、寂しく
参加賞><



平成21年6月から、総合型地域スポーツクラブの啓発のため、月に1回クラブインフォメーションを発行しています。発行と同時に、体育協会ホームページ(<http://www.sports-tottori.com>)にも掲載しているので是非ご覧ください。

南部町総合型地域スポーツクラブ 設立総会



平成24年11月4日(日)、南部町公民館多目的ホールに於いて、総合型地域スポーツクラブの設立総会が行われました。

平成22年度から2年間の準備期間を経て、本日の立ち上げとなりました。

来賓として、南部町教育委員会教育長：永江多輝夫氏、南部町副町長：藤友裕美氏、鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長：長谷川和郎氏がお越しになり、鳥取県体育協会から油野利博会長が出席いたしました。

役員は、会長に中野久志さん、副会長に細田恵誠さんが就任され、事業内容は、定期教室として、放課後自遊クラブ・親子ふれあい遊び・なんぶ健康クラブ・なんぶゴルフクラブ教室で、各種イベントも多数実施する予定です。

行政主体で立上げ、町からの財政支援(5年間通減)の後、自主財源と受託事業による町民主体の運営に切り変えていくという青写真が描けています。

総合型立上げの事例として参考にしてもらえたらと思います。

設立総会の後、アテネ・北京オリンピック柔道女子金メダリストの谷本歩実さんによる設立記念講演が行われました。

中国ブロッククラブミーティング2013 鳥取で開催

平成24年11月17日・18日、中国ブロッククラブミーティングが、鳥取県立武道館に於いて開催されました。

中国ブロック内総合型クラブ関係者、創設支援クラブ、自立支援・クラブマネジャー設置支援クラブ及び都道府県総合型クラブ連絡協議会加入クラブを対象として、設立準備に必要な情報や具体的な取組内容の提供、設立クラブが抱える問題解決の糸口を探る情報の共有、中国ブロック内の育成支援ネットワーク強化と各県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の連携・協力体制のより一層の促進を趣旨として行われます。

1日目は111名、2日目は91名の参加があり、地域づくりに関する様々な事例が聞け、クラブ運営の参考になったことと思います。

【1日目】

■基調講演

いすみ鉄道株式会社(千葉県)

社長 鳥塚亮氏

演題 「いすみ鉄道鳥塚社長と地域活性化」

■事例報告

①グリーンスポーツ鳥取(鳥取県)

代表 ニール・スミス氏

「芝生によるまちづくり」

②オールラウンドすずはり(広島県)

マネジャー 竹本政博氏

「クラブにおける人材発掘」

③NPO法人きよね夢テラス(岡山県)

理事長 江口仁志氏

「NPO法人化による安定財源確保」

■パネルディスカッション

基調講演者、事例発表者と会場参加者との意見交換

【2日目】

■グループディスカッション

①クラブにおける人材育成

②クラブの活動環境

③クラブの財源

④地域での組織間(クラブ間)連携

⑤クラブの認知度アップ

※5つのテーマごとに役名程度のグループに分かれ、事前調査された資料に基づき課題等を話し合う。そして、課題の中から緊急性・重要性を加味して、クラブの「出来ること」「やるべきこと」を洗い出し、ナンバー1からナンバー3までまとめて発表をした。



【基調講演風景】



【ディスカッション風景】

掛金が改定
されました

スポーツ安全保険

傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険



写真提供 空手道マガジン月刊『JKFan』
毎月23日発売 <http://jkfan.jp/jp/>

対象となる事故 団体活動中の事故／往復中の事故

保険期間 平成24年4月1日午前0時より平成25年3月31日午後12時まで(申込受付は平成24年3月から)

加入区分・掛金・補償金額

掛金が改定されました

(団体活動を行う5名以上の方々と、加入区分をそれぞれご選択のうえご加入ください。)

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死 亡	後遺障害 (最 高)	入 院 (日 額)	通 院 (日 額)		
子ども (中学生以下 (特別支援学校 高等部の 生徒を含む。))	スポーツ・文化・ボランティア・ 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など)
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段：団体活動中およびその往復中の補償額 下段：上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円	葬祭費用 180万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	身体・財物賠償 合算 1事故 500万円	対象と なりません
大人	文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
	スポーツ活動の指導・審判	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円		
	子どものスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可								
65歳 以上	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分	B	1,000円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途退会する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。

※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

インターネットからの加入受付を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

Web

スポーツ安全協会

検索



法人 スポーツ安全協会 鳥取県支部

(鳥取県体育協会内)

〒680-0944 鳥取市布勢146-1 TEL 0857-28-1288 電話受付時間:午前9時～午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳しい内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付普通傷害保険、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付普通施設賠償責任保険およびスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)))の概要について紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら(財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険株式会社までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)
東京海上日動火災保険株式会社 (担当課) 公務第2部公務第1課
TEL 03-3515-4133 (平日9:00～17:00)
(共同引受保険会社(平成24年4月予定))
あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上
平成24年1月作成 11-T-09434